

15年ダイオキシン類調査結果 環境省



環境省は2003年暦年のダイオキシン類排出量推計結果と2003年度の環境調査結果を公表しました。それによるとわが国のダイオキシン類の排出総量は376～404g-TEQ/年で前年の半以下まで減少し、政府の削減目標を達成しました。

また、ダイオキシン類の環境中への排出減少を背景に、大気環境基準達成率が向上し、環境調査における環境基準超過地点の割合は、前年度の0.3%から0.1%へ0.2ポイント改善しています。

ダイオキシン類の排出インベントリーは、ダイオキシン類対策推進基本指針及び同対策措置法に基づき毎年整備する事となっています。2003年暦年の排出量(推計)は376～404g-TEQ/年で、2002年の944～970g-TEQ/年に比べると大幅に減少しました。これは1997年の排出量に比べて95%の削減となり、政府が2002年度末の削減目標として掲げた数値を下回っています。

排出量の内訳を見ると焼却施設については一般廃棄物(目標値310g-TEQ/年)が71g-TEQ/年、産業廃棄物(目標値200g-TEQ/年)が74g-TEQ/年と、削減目標を大幅に下回りました。産業系発生源も製鋼用電気炉、鉄鋼業焼結工程、亜鉛回収施設は目標値をクリアしましたが、唯一アルミニウムスクラップ溶解施設だけが目標未達となっています。

一方、環境調査はダイオキシン類対策特別措置法に基づく常時監視として大気、公共用水域水質、公共用水域底質、地下水質、土壌を対象に実施しています。2003年度の調査結果によると、大気は調査した913地点のうち環境基準を超過していたのは1地点(構成比0.1%)で、ダイオキシン類濃度の平均値は0.0068pg-TEQ/m³でした。公共用水域水質は超過地点は2,126地点中51地点(構成比2.4%)で、平均値は0.24pg-TEQ/l、公共用水域底質は1,825地点中9地点(構成比0.5%)で平均値は7.4pg-TEQ/g、地下水質は1,200地点で超過した地点はなく平均値は0.059pg-TEQ/l、土壌は3,059地点中1地点(構成比0.03%)で平均値が4.4pg-TEQ/gとなっています。

資料:2004年9月30日付 化学工業日報 p.12

クロマト研究箇所 戸邊 真一

事業内容

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析 | 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査 |
| 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明 | 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定 |
| 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 7 トータルサニテーション管理 |
| 4 水道法第20条に基づく水質検査 | 8 委託試験・研究・開発 |

